

# イラクからの軍「撤退」を問う！ ブッシュはなぜ靴を投げつけられたのか



駐留米軍の地位協定の調印を報告する記者会見で、ブッシュ大統領は、イラク人記者から靴を投げつけられた。このことは、米軍に対するイラク民衆の感情を象徴的に示している。まったくのデタラメな理由によって、数十万の民衆を殺傷するに至る戦争を仕掛けたアメリカは、「撤兵」を装いながら永久的なイラク（の石油利権）支配を目論んでいる。秘密協定の存在も指摘される「駐留米軍地位協定」とはどう言った内容のものなのか。米国のイラク支配のカラクリを検証する。そのアメリカに追隨して派兵を繰り返した日本。司法の違憲判断をも無視した派兵とはいったい何であったのか。さらに、イラク、アフガン同様軍事作戦による「制圧」が失敗し、無政府状態と化したソマリア沖への「海賊対策」という名目の新たな軍事派遣が画策されている。自衛隊派兵の現実も改めて問い直す。



発言：武者小路公秀さん(国際政治学)  
「イラク〈撤兵〉と占領」

報告：●稲葉雅紀さん(アフリカ日本協議会)  
「ソマリア『海賊』問題とは？」

●名古屋の違憲訴訟・反派兵運動の  
グループからの報告  
「空自はイラクで何をしたのか」

日時：2009年2月28日(土) 午後6時から

場所：文京区民センター・2A(地下鉄春日駅すぐ)

資料代：500円

主催：新しい反安保行動をつくる実行委員会

東京都千代田区三崎町 3-1-18 近江ビル 4F 市民のひろば気付  
tel&fax ; 03-5275-5989 URL ; <http://www.jca.apc.org/hananpojitsu/>

